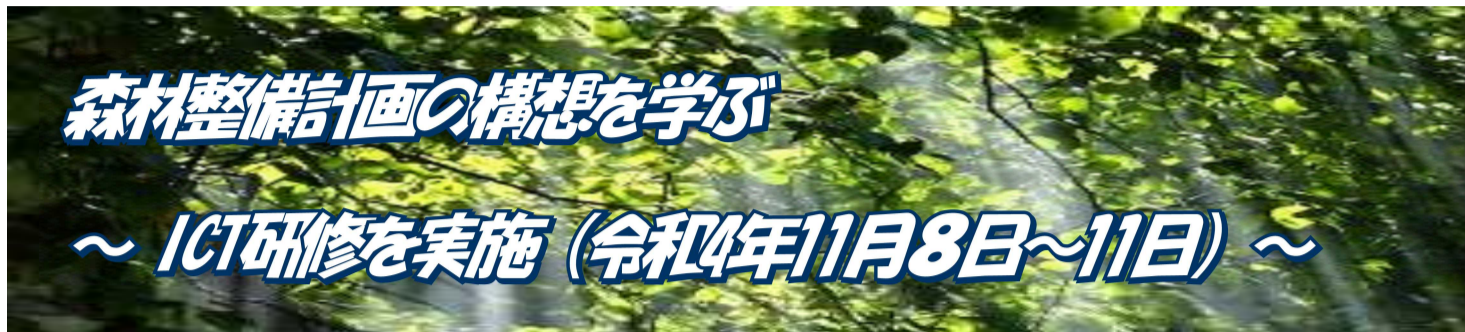


次世代につなげる森林づくり



NO.44号
令和4年11月22日



林業成長産業化構想技術者育成研修の四国ブロック研修を、自治体、民間林業事業者の皆さんにも参加いただきグループワーク形式にて開催しました。

この研修は、林業成長産業化に資する技術力の向上を目的に、ICT等を活用し森林資源や地形の把握を行い、林道整備計画や地域の特性を考慮した森林整備計画を検討、作成するもので、高知県中土佐町において国有林と隣接する民有林を演習地に、およそ1,000haの森林について10～20年先を視野に入れた全体構想を踏まえて、林業専用道計画（10年分）と森林整備計画（5年分）の構想をとりまとめ最終日に中土佐町の林務担当者に向けてプレゼンテーションを行うという形で実施しました。

1日目：外部講師等による演習地等の説明、QGIS（地理情報システム）、FRD（林道・路網の設計ソフト）等のツールを使用した路線の検討と「地域特性に応じた森づくりの構想」についての講義を行いました。



2日目：午前中に「ドローンによる森林資源の調査」として国有林内に自動飛行経路を設定し、各班全員で操縦しながら森林資源状況、路網設置の可否等の確認をしました。

午後は、「森づくりの検討」として、現在の林況を把握しつつ森林の混み合い度を評価し、周囲の状況や森林の機能等を考慮して各班で今後の森づくりについて検討した結果を発表しました。



3日目：プレゼンテーションに向けて、演習地の森林整備計画や木材生産計画（5年分）及び林業専用道計画（10年分）をFRDやQGIS等を使用して、各班毎に構想を作成しました。

4日目：各班毎に作成した構想のプレゼンテーションを行い、活発なディスカッションが行われました。



受講生からは「資料のみでは判らない情報が、現場で得られることを再確認した」、「ドローンでの林況確認は山の形状が確認できとても参考になった」、「QGISでどのようなことができ、情報が視覚化できるのか理解できた」「難しい演習だったが、自分の中にプレゼンの考えを落とし込むという作業の重要性を改めて感じた」等の感想が聞かれ、有意義な研修となりました。

この研修から学んだことや、感じたことを地域林業の成長産業化に活かして頂きますよう、受講生の今後のご活躍を期待しています。



各種試験調査のお問い合わせは
四国森林管理局 森林技術・支援センター

☎ 088-821-2250
e-mail shikoku_gijyutu@maff.go.jp